



日本共産党
北茨城市委員会
鎮西町登田1000-2

毎週 日曜日 発行

インターネットで
ご覧いただけます

http://www.kcc-j.com/

ご相談は
お気軽に

市議会議員
福田 明
43-0468

市議会議員
鈴木 康子
42-2462

前期高齢者(65〜74才)の 国保税も年金から天引き

日本共産党
は反対

さる12月の議会には、国民健康保険条例の一部改定案が上程されました。これにたいし日本共産党の福田明議員がおこなつた反対討論の要点は次のとおりです。

高すぎて払えない国保税

この条例案は、4月から

実施予定の後期高齢者医療制度に乗して、65〜74才(前期高齢者)の国保税も年金から天引きするものです。

わずかな年金で生活している人たちの実態を見ない冷たい政治です。

国保税納者に保険証を交付しない制度運用のもとで、医療を受けられずに命を落とす事態が各地で発生してい

ます。

国保には全国で2530万世帯が加入していますが、うち481万世帯が滞納となつています。本市では、18年度決算時で1万173世帯が加入し、うち18年の現年度分だけでも滞納は1882世帯で、その額は約2億円。過年度分を含めると滞納は約7億5千万円に達します。

このように、「5人に1人が払えない」実態は、たんに個人の問題ではなく、現在の国保の構造的な欠陥にほかなりません。

国庫負担を元に戻すべき

国民健康保険制度は、憲法25条(健康で文化的な生活を営む権利)にもとづいて、だれもが安心して医療を受けられる制度として生まれました。加入者には農家や零細業者など低所得者が多いことから、国の財政負担が大前提でした。

ところが政府は、84年に国保への国庫負担を45%から38.5%に削減する大改悪



新春、街頭から元気に

1月3日、日本共産党市議団は「暮らし・平和・憲法を守ろう」と新春の街頭から訴え、宣伝カーで市内を一巡しました。

「道路特定財源」の温存には反対

道路整備の推進と財源の確保に関する意見書について

の議案が12月議会に出されました。国道6号線の渋滞解消や自治体の意見を反映した道路整備網などを要

求する意見書です。

しかし、そもそも問題の大きい「道路特定財源」の温存を求めることにつながりかねないとして日本共産党は反対しました。

をおこない、国保税を大幅に値上げせざるをえない事態を招きました。国が果たさなければならぬ財政支援を放棄していることが、国保破綻の最大の要因です。年金からの天引きでなく、国庫負担を元に戻すべきで

す。この間、年金は5千万件にもぼる未統合が大問題となつています。「国保を天引きする前に、納めた年金をまじめに払え！」というのが多くの市民の声です。以上の立場から、今回の条例案に反対します。

消防出初式

1月6日、消防出初式が今年はいくつかの部形式で盛大におこなわれました。

第一部は、功勞者への表彰や点検官(市長)訓辞などの後、いそはら幼稚園児による幼年消防クラブの演技が披露されました。

第二部は、会場を磯原駅西に移し、関南小鼓笛隊や消防分団などによる分列行進。さらに、事故車両からの救命の訓練実演、県の防

災へりを使っての人命救助訓練などが続きました。初めて見る訓練に、駅前通りをつめた市民から拍手が湧きました。

防災については、住民を巻き込んでの地域防災のありかたや救急搬送など、課題は少なくありませんが、現場で働く消防・救急隊員はその専門性・技術には感心し、私たちの暮らしもこ



駅西の通りを分列行進

県の防災へりも出動



ういうがらに支えられているのだと実感します。



中郷町小野矢指の踏切拡幅

南中郷駅そばの踏切の拡幅が昨年の暮、無事に完了し、党市議団のもとにも喜びの声が寄せられています。